



茨城県石岡市東成井1617の5
電話 〇二九九一五六一六一三七

第11号(秋号)
平成30年10月15日
発行 波切不動寺

<http://www.iwamanamikiri.net>



LINE@

「友だち追加」をする
と、LINEでお寺からの
通知を受信できます

波切不動寺は大きな変革の時を迎えました

平成最後の夏が終わりました。

この機会に皆さんに知ってもらいたいことがあります。

手を合わせることは自分を変える、最初の行為です。

祈りが叶わなかった時には

叶わなかったことに意味があります。

祈ること、ただそれ一つ、一つごとに精進すること。

酷暑の夏が過ぎ、やっと秋らしくホッと
とする季節が訪れました。ご信者の皆さま
ま方はお元気で過ごしてでしょうか？

お寺にとって今年の夏は例年にもま
して暑く、長いものと感じましたが、過ぎ
てみると大きな変化が起こっていました。
その変化とは

1. 今まで頑張つて修行に精進して
いた法忍阿闍梨が、悟りを得るため
長期間の旅修行に出ました。いつお
寺に戻るのか、戻らないのかは、お
不動さまの御心(みこころ)次第で
す。現時点(平成30年9月末)で誰
にもわかりません。

2. そのため寺の一切の加持祈祷お
よび供養等は、住職の聖翠が行いま
す。また波切不動寺の後継者を聖翠
の次男の嫁「美幸さん」こと、法名翠
「さん」と決定しました。

※聖翠さんは、来年から本山修行に入ることにな
ります。次のページで詳細をお伝えしています。

3. 波切不動寺の今後の活動方針を、
「護摩を焚き、仏さまを拝み、信者
の方々の抱える多種多様な希望を叶
えられる寺になる」と定め、行者一
同修行に入ります。

4. 法忍阿闍梨が寺を去つてから、

住職聖翠は寺を建立した原点に戻り、
念仏勤行・護摩等で「ご本尊不動明
王さまのお告げ」を大切に受け取り、
ご本尊を信じ、実践することにしま
した。

聖翠がこのように心を決めてから、
まだ50日しか経っておりません。それ
なのに寺は明るく、活気に満ち溢れ、
そして次々に不思議なことが起こり始
めてきています。



不思議な出来事

不思議な出来事は次の通りです。

・お不動さまは時間に厳格

聖翠は毎朝5時10分に本堂を開け、お
灯明をともし、お香を焚いて朝の勤行の
準備をします。それから
いったん、身支度を整える
ために自室に戻ります。そ
れをひと月ほど前から、自
室に戻らずにそのまま朝勤
行を始めていました。

1週間、2週間を過ぎた
あたりから、本堂に何か空
き家のような気配を感じる
ようになりました。あれと
思った瞬間、お不動さまの
声が聞こえ

「聖翠、私が来た頃には、
お前さまのお経が終わって
しまつておるではないか？
指定された時間にきちんと

いたせ」とお諫めをちょうだいしました。
それ以来、勤行は6時と決まった時間
にあげております。



不動明王の降臨

8月21日、朝3時にお不動さまが突然
降臨され、左記のようなお告げをちょう
だいしました。

「御仏(みほとけ)と寺と聖翠を支える
大スボンサーが誕生するぞ。

大宇宙に遍満している最大級のエネル
ギーを、人は神と呼び、仏と崇めた。最
大級のエネルギーの持ち主を神と称する
のなら、天照大神。仏と称するならば大
日如来であり、宇宙の中心をあらわす。
その仏界の最高仏の化身である不動明王



のエネルギーは最大である。

この寺では不動明王と一体になれるのは聖翠ただ一人である。不動明王から流れるエネルギーは無限である。

誰もが手にすることのできるエネルギーは火と水。火のエネルギーばかりを取り入れていると余裕がなくなる。一方、水のエネルギーを持っているのは十一面観音菩薩である。火と水の両方を手に入れることで、信者は健康に暮らし、働き、成功と富と繁栄を得られる。その鍵は「祈り」。不動明王の火を受け、六根清浄にして清き心になったら、先祖を敬い、感謝の心を持ち、「祈ること、ただそれ一つ、一つごとに精進すること」。常に神仏を敬い、感謝の心を忘れず、生かされている自分を見つめ御縁を大切にすること。

波切不動寺は健康・成功・富・繁栄を手に入れることのできる寺だ

・寺の後継者が美幸さんに決まった理由

今年の8月23日に、弁財天さまの社の落慶法要をやり直したことは、すでに皆さまにもお手紙でご報告したかと思いますが。弁財天さまを中央に、向かって右側が龍神さま、左側が宇賀神さまのお社です。その社の購入のため、8月5日に聖翠と戸塚映子、美幸の3人で神具店に赴き、お店の女将と話をしていたときのこと。お女将さんは突然美幸さんに指を差し、「寺の跡取りはあなただよ、そうでない

と、けしからん者らに、聖翠は追い出されるよ」と言い放ったのです。

「あら、私とときどきお稲荷さまに口を使われることがあるの。ごめんなさい」と、女将さんはすぐに笠間稲荷さまが降臨して失礼を言ってしまったことを謝罪しました。

美幸さん自身も3年前に聖翠に稲荷が降臨したとき、「母の跡取りはお前だぞ」と、行者一同の前で断言されていました。

「当時は軽く考えていたけれど」と振り返りつつ、今は神仏が決めてくださった、ありがたいと受け止めています。

・加持力を与えられて

東京の藤田医院で、医療相談の仕事をしている、荒牧佳代さんという方の話をしましょう。

聖翠は、腰痛治療のため藤田医院を訪れました。荒牧さんにお会いし、彼女のチャクラを開けて加持力を与えました。以来、佳代さんが難病の患者さんにお加持をすると、回復に向かうという不思議なことが起こります。

患者をお加持した後、波切不動寺で佳代さんに二座式供養を修すると、体から霊体が抜け、体が軽くなりました。寺では佳代さんの体を守るため得度させ、法名を「翠蓮」としました。翠蓮は東京にあるマンションの一室に『癒庵』という「祈禱所」を作り、難病に苦しむ患者さん達にお加持を始めました。

患者の中には難聴が快癒したり、精神的疾患が収まったりする人が次々と現れ

ています。その後、患者さん達に二座式供養をすると、体から霊体が抜け、病気が完治するのです。

◎お加持の施術例に興味をお持ちの方は、お問い合わせください。

住職や翠蓮さんの体験や事象に科学的根拠や文献はないものか調べてみたところ、『境野勝悟（さかいかつのり）』著書の本に、「祈り」を捧げた患者のほうが完治しやすい。という見出しを見つけました。

【人の体はコンピューターより優秀】

人間が、もつとも大切にしてきたものは、大自然の見えない偉大な力である。特に、日本人は、自然への感謝と祈りを、大切にしてきた。

が、物質の開発とコンピューターの渦巻く中で、自然に祈るというすばらしい道に、すっかり目をそむけてしまった。

驚いたことに、今日、アメリカでは、過半数の人が、西洋医学だけでは、病氣は治せない。とくに、慢性の病氣は、治らないといはじめた。そして、事実、実験によつて、回復の祈りを捧げられた患者の方が、祈らない患者よりも、完治し易いことがわかった、と、いう。

人間は、生まれながらにして、驚くべき可能性をもっている。人体のすべてのはたらきは、どんなコンピューターより優秀である。

マントラ・真言を一心に唱えて、悩みの記憶を消して、思いもかけない力を、一瞬のうちに造り出すのだ。その力のあることをハッキリ自覚することを、「悟り」という。祈念の力にも、脱帽することだ。

※出典元：般若心経 境野勝悟著 5章81節より原文まま

別の方も祈りで病氣は本当に治癒する、と著しています。東京大学卒でフランスの国立研究所で博士号をとられた日本の脳科学の女性科学者が、「祈り」で脳の活性化や免疫力の向上を認めている本を出しています。

荒牧佳代さんが「祈り」というものを医者からの書かれた本を送ってくださいました。タイトル「医者が学んだ祈りの力」という【小松健治医師】の著書です。

冒頭には、「祈り」とは、広い意味で人智を超える大きなもの、大自然や宇宙、あるいは人間や生物を含む神羅万象への思いを込めた、畏敬の念や、願いや愛といった心の作用、量的には微量ですが、質的には絶大な精神的なエネルギーと言つてもいいでしょう。そのエネルギーを「祈り」によつてもらふことができる、とあります。

これまで偶然とか、気のせい、思い込み、果ては迷信だと言われ、まともに取り上げられなかった【祈り】による自然治癒力は、今では一流の科学者たちも注目しています。

絶望的とみられていた体や心の病が「祈り」により救える、助かる見込みのない状況から「祈る」ことで生還したという実例が、数限りなく報告されています。

小松健治医師の本を読んで、私ほどもうれしくなりました。お不動さまが降臨なされて話したことと同じような内容が語られています。興味のある方は、ぜひご一読ください。幻冬舎から出版されています。



加持力とは 心からの祈り

皆さんの貴重な体験を真言宗では「加持」といいます。耳慣れない言葉だと思いがた、たとえば乳がんの治療をしているAさんは、病院には行っていない不安だと、寺に相談に来ます。そこで聖聖はお不動さまに一生懸命祈ります。

「Aさんの乳がんを治してください」と、Aさんにするとお不動さまは「そんなに一生懸命祈るのなら、治してあげよう」と、Aさんに治癒力を授けてくださいます。

加持力が届くと、病気がよくなる、商売繁盛する、良い人とご縁ができる、運が向上します。

しかし因縁の強い方は加持力の届かないことがあります。

因縁の因とは種(自分の作った行動、言葉、思いなど)。因縁の縁とは環境(悪い仲間と関わる、悪い場所に行く、悪いものと関わるなど)。因縁とは、そもそもお釈迦さまが発

見した宇宙の法則のことです。古くから因縁を取り除く(因縁解脱)には布施行が一番良いとされています。

次に先祖供養。波切不動寺では早く因縁から解脱をするために二座式供養とお布施をすすめています。布施とは困っている人を救ってもらおうよう、お金や体力や時間などを仏さまに差し上げる行為です。加持力は、信じる心がある人なら「どなたでもちようだいできる、仏のお力」です。ただし欲の深い方は、いただけません。



二座式供養のすすめ

二座式供養法は真言密教の秘法で、有資格僧のなかでも修行僧にしか作法できません。ほかの加持祈禱との違いは、餓鬼や畜生霊に代表される目に見えない、すがりつく面々を祓うのではなく、大日如来の、その化身のお不動さまの慈悲心にて成仏供養する秘宝です。



【先祖因縁の図】

二座式供養は正式名を「滅罪二座式精霊(しょうりょう)供養」といい、普覚(ふかん)行者さんからはじまったと伝えられています。

二座式の通り、前の座と後の座の2部構成で成立し、施主(拜んでもらう人)に縁のあるすべての霊魂を供養します。【前の座】では、施主の先祖に因りつた迷い死霊を呼び、冥福を祈ります。すなわち「根」を元気にするため、先祖の犯した罪、または先祖が受

けた罪を祈禱によって清算するための座です。【後の座】で急死、変死、若死をした先祖を懇ろに弔います。供養はその字のごとく、亡くなった人にお供えをして「養う」わけで、繰り返し行う必要があります。

繰り返し、繰り返しが大きな力に

先祖供養のことを「滅罪」といいます。人の罪は借金のようなもので、いつか子孫が返さなければ次の代に引き継がれていきます。昔の人はよく知っていたもので、滅罪供養のために塔婆を立てたり、お寺に供物を寄進したりを季節や生活のサイクルに取り入れていました。

二座式供養を2度、3度と行うことで、不思議に病気が治ったり、運が開けたりします。先祖供養を繰り返すと、先祖が力をつけ、子孫にいつも付き添って危険を回避してくれたり、よき人とご縁を結んでくれたり、病気やけがをしないよう守護をしてくれます。

波切不動寺秘宝

二座式供養法(滅罪二座式精霊供養法)

回向料... 5万円以上

施主一人に対し、祈禱を行った場合。

※施主は拜む方の芳名を受け付けに告げ、お申し込みください。

※供養に必要な支度がございます。事前予約をお願いします。

個人で申し込まれるご祈禱とは別に、財布の負担が軽い【合同二座式供養】も受け付けております。何度も繰り返し供養をすることが大切です。下記参照のこと。



▲二座式供養は水を使った供養法です。供物と水を加持して三悪道(地獄・餓鬼・畜生道)に「落ちた」者たちに与えます。

普賢行者さんについて

享保16年(1731)誕生、修験者を志し秩父の三峰山で天台、真言両宗の奥義を極めた後、修験者の長となる。後に信州木曾御嶽山を開闢(かいびやく)、御嶽山を道者の山から行者の山へと変えた。

合同二座式供養

◎第二日曜は護摩の後14時から。

17日、28日は護摩の前15時から。

◎申し込みは、当日の12時まで

回向料一霊... 1万円

(個人の名前「波切太郎の供養」というようにお申し込みください)

回向料一家... 3万円

(波切家先祖代々諸霊菩提也)大きな塔婆を立てて供養します。)

※申し込み者が参座できない場合も、ご供養いたします。

※回向料にお供物代が含まれていますが、亡くなった人の好物など特別供えたいものがあれば、当日持参してください。

・信者さんの体験事例

◎「遅い、もっと早く来い」と
お不動さまに叱られた!

城田敦子さんの体験

先日、私は初めてお不動さまの声を聞くことができました。それは数日後に控えた夫の手術が心配で、大久保先生を訪ね、お寺に足を運んだ時のことです。お堂に入ってお不動さまに手を合わせる時『遅い!!』と、大きな声がしました。あわててお経を唱え、もう一度お不動さまの前に立つと『なぜもっと早く来ないのか!』と、またしても大きなお声が…。恐るおそる、お不動さまを見ると、とても怖い目。しばらくお寺から足が遠のいていたので、お不動さまに叱られたのだと思いました。もう私の願い事など叶え



二座式供養のために城田さんがお寺に向かっているとき、大久保先生はお寺でお支度を整えていました。
大久保先生がお花を花瓶に移し、水を入れるとパーンと大きな音とともに、分厚い花瓶の底がスパッと割れたのです。破片も飛び散らず水だけがこぼれました。その瞬間、先生は「城田さんのご主人の病気が切れた!」ことを確信しました。二座式供養の後、ご主人の病気は日に日によくなっています。

飛び散らず水だけがこぼれました。その瞬間、先生は「城田さんのご主人の病気が切れた!」ことを確信しました。二座式供養の後、ご主人の病気は日に日によくなっています。



▲両脇に花瓶(花立て)を配置した二座式供養のときの観音さまの荘厳。分厚いガラス製の花瓶がまるで水平にカットしたように底が抜け落ちた。

ていただけないと、落胆しました。

けれどもお不動さまは、すぐに助けてくださいました。翌日には大久保先生がお忙しい中を万障繰り合わせて祈願してくださり、御蔭さまで手術も無事成功しました。

私は改めて、お不動さまのおっしゃった意味を考えてみました。夫の手術の日程はずいぶん前に決まっていたにもかかわらず、大久保先生はお忙しいのではと気をまわし、お寺に行けなかった。それでお不動さまは、『遅い!!』『なぜもっと早く来ないのか!』と。つまりは『心配事があつたら、すぐに来なさい。手遅れになったらどうするのだ!』と、大きなお声を発し、教えてくれたと思うのです。決して、お怒りやお叱りではなく、お不動さまのお慈悲の言葉だったのだと気付きました。

お不動さまはいつでもどのような時でも見守ってくださるのだと実感しました。お不動さま、大久保先生、お寺の皆さま、本当にありがとうございました。合掌

◎聖翠先生のお体から白い煙が。
深谷澄子さんの体験

お寺に行くようになって、そろそろ10年になります。その間にたくさんのことを「お不動さま」からちようだいしました。

先日、用事があつて聖翠先生とお話をしていたところ、先生の背中から白いモヤモヤと、ドライアイスのスモーク(煙)のようなものが出ていることに気付きました。はじめは目の錯覚を疑いましたが、角度を変え、まばたきをしても先生からしか白いモヤモヤは見えません。先生におうかがいすると「お不動さまから気が出ている」とおっしゃいます。モヤモヤが見えるということは、私も「お不動さまの気をいただいている」ことだと教えてもらい、とてもうれしくなりました。

何年もお寺に通っていても、良いことばかりではありません。それでも先生がいつも言う「大難が小難、小難が無難」と…これからお不動さまから恩恵をいただいで、生きて行くことと思います。

◎MRIで脳に見つかった腫瘍を案じていたら次の検査のときに消えていた。

鈴木啓子さんの体験

私は毎年定期的に脳のMRIの検査を受けています。
先日受診をした結果、主治医もびっくりするくらいに大きな腫瘍が見つかりま

した。すぐに造影剤を使用する再検査を受けると同時に、波切不動寺で「病氣平癒」の祈禱をしていただきました。その2日後、検査結果を聞くために病院へ主人と一緒に向かったのです。モニターに映し出されている画像から、驚いたことに前回あった腫瘍は認められませんでした。主治医も「こんなことありえない、不思議だ、信じられない」と首をかしげていました。

結果次第では、脳にカテーテルを入れる手術を予定していた、という話を聞かされ、びつくりしました。私は思わず、お不動さま、天部の神さま、ご先祖さま、ありがとうございます、と叫んでしまいました。

常日頃、信者のために拜んでくださっている大久保先生、本当にありがとうございます。感謝

◎娘の火傷を加持力で治した。

深澤京子さんの体験

これから15名のお客さまを迎えるため、食事会の準備をしている最中でした。揚げ物を担当している長女が、手首の裏側に大きなやけどを負うというアクシデントに見舞われたのです。みるみるうちに皮膚は真っ赤に腫れ、水泡ができて、そんな時にお寺で聖翠先生が「やけどをしたときは、お不動さまに祈るのです。手をかざしてノウマクサンマンダーとね」と言っていることを思い出しました。

やけどをした娘の手に、私の手の平をかざしノウマクサンマンダーと一心に真言を唱え、祈りました。70回くらい唱えていると、私の手からチカチカと電流が通るような、あるいは縫い針で刺される



ような痛みが起きました。娘はやけどの痛みと私の手から放つビリビリする【氣】で「痛い痛い、本当に痛い」と叫び、それでも続けました。

20分くらい過ぎた頃、2人で顔を見合わせ驚きました。さっきまで真っ赤に腫れ上がっていた皮膚は、赤みが引き、腫れも収まっています。水泡だけは白っぽく、薄い色で残っていますが、それも1週間も経つと消えています。薬も塗らずに完治したのです。お不動さまのすごいパワーを、体験を通じ実感しました。これから家族の道しるべとして波切不動明王さまを信じ、精進して参りたいと存じます。



▶17日の弁財天供養のときに、八角堂の上で、信者の皆さんと弁財天さまにお経をお唱えすると、雪のように玉響(たまゆら)が現れます。

◎家誠い祈禱でしつかり結果が

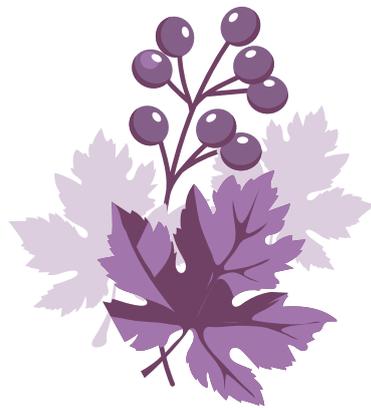
戸塚思月さんの体験

今年の7月に、主人の念願であった会社の新事務所が完成しました。

皆、心新たに働き始めた矢先、息子の嫁が事務所にいると、どんどん体調が悪くなつていきました。毎日ひどい頭痛に見舞われ、おかしいなと思つていたところ高熱が出るまで体調は悪化。しばらく仕事もできない状態が続きました。

息子は事務所にいると気分が悪くなると言います。事務所の敷地内を歩いていると、気持ちの悪くなる場所がはっきりわかると。息子や嫁に起こる症状は病気ではないと思ひ、大久保先生に相談をすると、先生はすぐに事務所に駆けつけてくださいました。10年以上前に先生が修法なさっていた特別な行法で事務所を祓うと、たちまち目に見える変化が生じたのです。よどんでいた空気が軽くなり、事務所内が明るくなったのを、その場にいた全員が体感しました。嫁の具合が悪くなった原因は、土地の元々の持ち主の先祖霊が、自分の子孫の土地に見知らぬ者達が入り込んでいると思ひ怒つていたので。先生の行法で元の持ち主の先祖霊も理解し、去ってくださいました。今は事務所も穏やかになり、息子も嫁も元気で働いています。

このように原因を明らかにし、根本から悪しき事象を解決してくださいさる先生の行法は本物だと、改めて感激したとともに、感謝の気持ちでいっぱいになりました。お不動さま、大久保先生、本当にありがとうございました。



◎聖翠が見た正夢

今年の夏は、酷暑で気温が高いまま長雨が続きました。そのため湿潤もひどく、大久保農園ではイチゴの苗が病気になるたり、枯れてしまつたりと、昨年比べて順調ではありません。聖翠はイチゴの生育過程を心配してしまつた。

そんなある晩、聖翠は夢でおばあさんが農園のハウスの横に、一輪車で山のようなイチゴの苗を捨てに来る夢を見ました。聖翠が

「おばあさんどうしてイチゴの苗を捨てしまふの」と聞くと

「苗が余つてて邪魔なんだよ」と言います。そこで聖翠は

「イチゴの苗が枯れ、元気な苗が足りなくて困っている」と話すと、

おばあさんは

「明日の朝、イチゴの苗を取りに来いよ、用意しておくから」と言い、そこで夢から覚めました。次の朝、農園に行くとハウス建ての職人さんが先に来ていました。責任者にイチゴの苗がなくて困っていることを話すと、

「昨年、栃木の上三川で大きなイチゴ

農家のハウスを建てたから、そこにあるか聞いてやるよ」と、すぐに連絡してくれました。そのかいあって、約2万本の苗を調達できたのです。

夢の中で相談をしたおばあさんが、苗を都合してくれたのでしようか。不思議な夢です。

◎かつての信者さんが連絡をしてきた

15年前に、聖翠はある男の子を助けました。男の子の姉は、弟が夜な夜な吠えるような奇声を発すると、聖翠に救いを求めてきたのです。この姉弟は幼少時に母親と死別し、過酷な人生を歩んでいました。弟の体の中に入っていた霊はお坊さまでした。聖翠がその霊を抜いてやると、彼にはすごい霊力が備わっていることがわかりました。そこで聖翠は弟に仏道を教え、加持力を与えたのです。その後2人は笠間の地を離れ、音信不通になっていました。

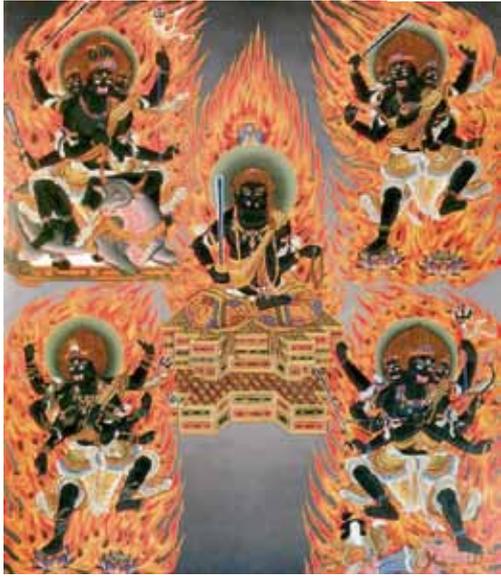
それから10年以上が経つた今年の夏に、お姉さんから連絡があつたのです。

「先生、最近何かお変わりになつたことはありませんでしたか?」と、お姉さんは聖翠に尋ねてきました。聖翠が、今年の夏に起こつた諸事情を話すと、

「お不動さんが、法忍さんば寺から出したんだよ。人生の修行にな。法忍さんが寺を出ても、寺はなんも困らないだろうよ」と。遠く離れた地から、聖翠を気遣う励まし言葉の言葉を届けてくれました。



五大明王とは東・南・西・北・中央の五体明王のこと。中央は大日大聖不動明王、右下から時計回りに降三世夜叉明王、軍荼利夜叉明王、大威徳夜叉明王、金剛夜叉明王



「お不動さまのお体が小さすぎて、救える人を取りこぼしている。大きな不動のご神体を作れ」と、お不動さまが申されていますよ」

福岡大師寺の住職・法泉先生から連絡がありました。改めて本尊・不動明王像を見ると、身の丈は35cm、総丈は50cmしかありません。このお体に何百人の願い事を載せていたのでしょうか？本尊さま重かったでしょうに、申し訳なくて涙がこぼれました。

さっそく本尊不動明王像の建立を発心して、仏師さんに相談しました。総丈はどの位？と聞かれ、お堂に入られるサイズを測ってみました。聖翠はお不動さまの立ち姿が好きなので、立像を依頼しました。高さは2・10メートルが良いかと決め、再度仏師さんに連絡。すると今彫つ

不動明王ご神体の建立 平成30年12月9日(日)開眼法要

ているのが2・10メートルの立像とのこと。この像で良ければ年内にお納めできます、との返事でした。なんと準備していたかのような話に驚きました。やはりお不動さまは、大きくなりたかったんだな〜と思いました。

詳細については役員会で決めていただくことにして、寺としてまず考を建立し、お寺内陣を改装することです。

*12月の焼八千枚護摩供養のかわりに、不動明王建立法会とし、護摩木のご寄進を不動明王建立資金に変え、信者方に寄進いただく。寄進者の願いと芳名を小木(しょうぼく)に記し、不動明王さまの台座に埋め込むこととする。

*また12月の焼八千

枚護摩は、不動明王開眼法会とし、毎年1体ずつ不動明王像を建立。5年の歳月をかけ、五大明王像の建立をしようと考えています。

*6月の焼八千枚護摩のかわりに、十一面観音さま、お大師さま、お地藏さま、弁才天さまの建立法会とし、護摩木の御寄進を、仏様の建立資金にかえ信者の皆さんにご寄進をいただく。御寄進者の願い、芳名を小木(しょうぼく)に記し、十一面観音さま、お大師さま、お地藏さま、弁才天さまのそれぞれの台座に埋め込む事とする。

◎5年の歳月で寺の内陣を御仏さまの曼陀羅の世界に変身させ、ご信者方の願いを成就させる場所とする。

波切不動寺の行事予定

◆月例行事◆

- 第二日曜日 11時～日曜護摩
- 17日 18時～十一面観音縁日護摩・弁財天供養
- 28日 18時～不動明王縁日護摩、荒神供養
- 第一午の日 19時～稲成供大般若転読会

◆定例行事◆

- 1月1日 0時～元旦朝護摩
- 1月2、3日 11時 新春初護摩
- 2月3日 18時～節分祭(星供・追儺祭)
- 春分の日 11時～弘法大師御影供、彼岸先祖供養会
- 6月第二日曜 早朝～十一面観音建立開眼法会
- 7月土用入り 早朝～キュウリ加持祈祷会
- 8月13日 孟蘭盆迎え火法会
- 8月16日 孟蘭盆送り火法会
- 秋分の日 11時～秋彼岸みちびき地蔵供養会
- 12月第二日曜 不動明王建立法会



※行事の日時は、寺の掲示板または寺のホームページでご確認ください。

平成30年度

建立資金 ・一口1万円以上とし、11月から12月末までに御寄進していただく。不足分は寺から支出する

・不足分は寺から支出する

建築物

・不動明王立像一体 600万円
・台座一基 150万円

その他

・前面の改装工事費用150万円

計900万円

開眼法要・平成30年12月9日(日)

お導師

・鹿児島県法恩寺 法主丸塚照範氏
・その他の助法師

福岡 大師寺 住職 丸塚法泉氏
鹿児島 性空堂 住職 丸塚法潤氏